

令和7年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
文学部 人文学科

小論文問題

分野	地理学
----	-----

令和6年10月12日（土）

自 10時30分

至 12時00分

答案作成上の注意

1. この問題冊子は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を含めて2枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
解答開始の指示後、直ちに枚数を確認してください。
3. 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
5. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
6. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
7. 配付した問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
8. 問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

総合型選抜（Ⅱ型） 小論文問題

分 野	地理学
-----	-----

問

日本の農村をめぐっては、多くの研究者によってさまざまなビジョン（研究の視点）が生み出され、研究が行われてきた。主に 1970 年代から現在まで、日本の農村をめぐ
るビジョン（研究の視点）がどのように変遷してきたのかを、課題図書を踏まえ、900
字以上 1,500 字以内で説明せよ。ただし、解答に当たっては、以下の四つのキーワード
をそれぞれ 1 回は必ず使うこと。また、西暦などの数字に関しては、一つのケタを 1
字としてカウントすること。

[外来型発展論、(一般的)内発的発展論、新しい内発的発展論、農山村たたみ論]

出典：

小田切徳美・橋口卓也編著『内発的農村発展論—理論と実践』農林統計出版 2018 年